

〔大城 勝議員 登壇〕

○3番 大城 勝君 3番議員、大城 勝です。4つの質問を一括していたしますので、ご答弁のほどよろしくお願いします。

1. 歯の健康について（1）フッ化物洗口の取組で虫歯の予防効果が上がるとの事例がある。その効果について町行政はどのような認識か。フッ化物洗口とは、フッ化物を含んだ薬で口をうがいを言いますが、それが虫歯予防に効果があるということであり、そのことに関して町行政はどのような認識をお持ちかを問います。（2）全国、沖縄県の学校保健歯科分野におけるフッ化物洗口の取組の現状はどうか。（3）本町の保育園における虫歯予防のフッ化物洗口の取組の現状はどうか。

2. ちむぐくる館の運動器具の整備状況について問います。（1）ちむぐくる館内健康増進室に運動器具類がある。その座椅子部分等のビニール皮（合成皮革）の擦り切れが激しい。張替えができないか。（2）利用者が安全に運動器具を使用できるよう整備が必要と思われる運動器具の点検はどのように行われているか。

3. 宮平交差点の信号機整備について（1）町内を通る国道329号線の宮平交差点は、交通量が多く特に朝夕の渋滞時や悪天候の際などには右折方向への運転に支障を来し、危険運転を強いられています。安心安全に右折できるように信号機の整備ができないか。

4. 黄金ホールでの歌声コンサート等の誘致について（1）先月11月23日の公休日に本町中央公民館・黄金ホールで、ある団体主催の歌声コンサートが開催されました。ホールは満席に近い盛況だったと見ます。この団体は、今まで町外で行っていたのを8回目の今回、本町の黄金ホールでの開催となりました。町の文化行政においては、地域への音楽普及の観点からも今までは町外で開催されているコンサートが、今後は継続して本町の黄金ホールで開催できるよう積極的な誘致の働きかけができないか。以上、4つを質問します。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の歯の健康について（1）にお答えします。フッ化物洗口の効果については、諸説があるという認識をしております。（3）についてお答えします。公立保育所1園、認可保育園13園、地域型保育施設4園に確認したところ、認可保育園4園で実施をしております。

質問事項2点目のちむぐくる館の運動器具の整備状況について（1）についてお答えします。ちむぐくる館の運動器具を快適に使用できるよう対応してまいります。（2）についてお答えします。運動器具販売業者が2、3カ月に1回、見守り点検をしております。

質問事項3点目の宮平交差点の信号機整備についてお答えします。同交差点の状況については、町としても認識をしており、平成28年11月に与那原警察署へ右折信号設置の要請を行っております。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 大城 勝議員の質問事項1. 歯の健康に関するご質問にお答えします。(2)でございますけれども、一般社団法人日本学校医師会等の共同調査によりますと、平成28年3月末現在でフッ化物洗口を実施している学校は全国で小学校4,002校、中学校858校、沖縄県で小学校12校、中学校5校となっております。

質問事項4. 黄金ホールでの歌声コンサートの誘致についてのご質問にお答えします。同コンサートや10月8日の「日ロ交歓コンサート2017沖縄公演」など多くのコンサート、イベントなどを開催しております。今後とも継続して行えるよう関係機関と連絡調整してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ご答弁ありがとうございました。再質問をさせていただきます。歯の健康についてですが、(1)フッ化物洗口の取組で虫歯予防の効果が上がるとの事例がある云々ですけれども、フッ化物洗口による効果が出ている事例については認識していると答弁をいただきました。どのような認識かをこれからの再質問で求めていきたいと思えます。(2)全国、沖縄県の学校保健の歯科分野におけるフッ化物洗口取組の現状はどうかについては、全国で小学校が4,000校あまり、中学校が858校、そのうち沖縄では小学校12校、中学校5校となっているとの答弁です。この数字を多いと見るか少ないと見るか、どのような印象をお持ちかお聞かせください。それから特に沖縄県ではどうなのかについて、小学校12校、中学校では5校、増加する傾向にあるとお思いかそのへんをお聞かせください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 現行の数値が多いか少ないかの認識についてですが、率にしますと実施校が全国で小学校が19.4パーセント、中学校で8.1パーセント、沖縄県では小学校で4.4パーセント、中学校3.2パーセント。また、人数での比率で換算しますと、全国で12.9パーセント、中学校4.3パーセント。沖縄県では小学校1.3パーセント、中学校は0.3パーセントとなっていることから、低い数値となっているものと認識しております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 細かい数字をどうもありがとうございました。次の再質問ですけれ

ども、歯の質問について（3）です。ただいまのご答弁は小学校、中学校に関するデータでしたけれども、本町の保育園における虫歯予防、フッ化物洗口の現状はどうかと質問しました。町内の認可保育園の13園のうち4園が実施しているということです。歯の健康教育の一環として保育園という集団の中で行うことは、より虫歯予防対策にもなると私は思いますが、行政として未実施の園にも実施を促す流れを作ることができないか質問します。いかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えいたします。町内の保育園におきましては、認可保育園13園のうち4園で実施しております。それぞれの園の判断において保護者の了承を得た児童について実施していきまして、1園については保護者会で説明して全園児についてですが、残り3園については保護者の了承を得られた児童についてフッ化物洗口を取り入れているということでございます。行政として他の園に勧めてはどうかとのご質問ですが、現時点でわれわれはこのフッ化物を使つての虫歯予防についてはまだ賛否の議論があるなかでございます。是非を判断するには、安全・有効であるという推進派の方々の情報や意見等も聞きながら、しかしながら反対の立場である方々もいらっしゃいますしそういうご意見もでございます。そういった状況のなかにおいては、現時点でわれわれが未実施の園に対して積極的に推進するといったことは考えておりません。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。ただいまの部長のご答弁も踏まえまして次の再質問をいたします。町行政には、町民の歯の健康づくりのためしっかり取り組んでいただきたいと思いますが、那覇市は歯のフッ化物虫歯予防のためにモデル校を指定して事業を推進していると聞きます。それから、南部保健所も豊見城市の小学校をモデル校にしてフッ化物洗口による虫歯予防を展開するとのことでもあります。本町も一気に全小学校、中学校とはいかないまでも、モデル校を指定して展開していくという手もあります。これまで成果を上げている事例を調査・研究して、フッ化物洗口による虫歯予防に最大限の効果を上げて欲しいと私は思います。この虫歯予防事業を推し進めてきた先進地の事例から言えることは、フッ化物洗口による虫歯予防対策の実施を学校教育現場の判断・調整に委ねるだけでは事業遂行が困難だということです。それは、先ほどもありましたけれども、フッ化物洗口による虫歯予防に関して住民との合意形成が必要な場面も出てくることから、学校現場だけに決断を委ねるのは無理を強いることになってきます。このことに関しては、行政側がリーダーシップを取り、本町はフッ化物洗口による虫歯予防対策を推し進めるのだという意気込みを持たねばと私は考えています。

さて、本町は今年の1月から医療費の現物給付の仕組みを取り入れましたが、その反響はどうでしょうか。その仕組みには、議会と行政が一体となって取り組み、町長の現物給付実施に対する強いメッセージもあり良い成果を上げられているとの内外の声があります。現物給付後に、虫歯治療患者の歯科受診が増えたとのことからも分かるとおおり、町内には歯の治療を必要としている人たちがいっぱいいるのです。歯の健康を保持・増進していくにおいて、虫歯治療に重点を置くよりその予防により重きを置くのが理に適っているのは当然です。

その予防策としまして、フッ化物洗口による虫歯対策はあると考えるわけですが、その先進地の事例としまして、沖縄県では久米島町の取組が実を結んでいると私は思っています。皆さんには前もって配布いたしましたA4用紙の図表のデータをご参照ください。このデータは、沖縄県の保健医療部から出された配布用パンフレットのデータに基づいています。それによりますと、久米島町でのフッ化物洗口の取組と題する折れ線グラフの図表ですが、久米島町では平成4年からフッ化物洗口による取組をして、今では25年の歴史があり、その成果が出始めたのは取組後の4年目からなのが公表されたデータから読み取れるはずで、12歳児1人平均虫歯経験の数が、全国・沖縄県よりも下回り始めています。平成27年度の数値を見ると、全国で0.9本、沖縄県で2.1本、そして久米島町では0.5本です。その裏の別表、平成28年度の数値の比較からも同等なことが言え、その虫歯本数の違いは一目瞭然です。この全国・沖縄県フッ化物洗口の実施自治体の比較による1人平均虫歯数の差は、明らかにフッ化物洗口実施による表れであると断言できると私は思いますが、町行政はその数値の違いをどのように捉えているかお聞かせください。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 議員より提供いただいた久米島でのフッ化物洗口の取組、この表から見ますと久米島ではフッ化物洗口による効果もあることは見て取れると思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 町行政におかれては、フッ化物洗口実施自治体をしっかりと調査・研究しまして、そしてうまく事業が進むよう強いリーダーシップを発揮していただきたいと思います。ここで本町教育行政のトップである教育長に、フッ化物洗口に取り組む姿勢、学校現場で取り組む姿勢をお聞きしたいと思います。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 議員おっしゃるとおり、それなりに効果があるというようなデー

タもあることは間違いないわけであります。しかしながら、先ほど部長から答弁がございましたように、データを見ますと数値的にはまだまだ低い部分もありますので、そのあたりは慎重に対応しなければいけないと思っております。なんと申しましても、専門家の皆さんに言わせても賛否両論あるというところがちょっと課題と言いますか慎重に対応しなければいけない部分でございまして、これからまた他の市町村あるいはまた県教育庁あたりの指導等々も注視しながら対応してまいりたいと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ありがとうございます。先ほども申しましたが、フッ化物洗口による虫歯予防に関しましては、住民との合意形成の必要性が重要になってくると考えます。それを教育現場だけに決断を委ねるのは無理を強いることになってくるわけであります。行政がリーダーシップを取り、フッ化物洗口による虫歯予防対策を推し進めるのだとの意気込みを持たねばと思うわけであります。行政には先進地域の事例を十分に調査・研究して、南風原町も虫歯予防先進地域だとの名乗りを上げていただきたいと切望します。

町長には、医療費現物給付で示した行政手腕の意気込みをこの南風原町の虫歯予防対策事業に、もうはつきりしましたのでお話ししますが町長職を勇退されるにあたり、置き土産として残せないかをお聞きします。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 歯の健康が一番大事だと思っております。南風原町でもデンタルフェア、南部の歯医者先生方が例年、南風原町のちむぐくる館で、今年は人の出入りを見てサンエーの中でやってもらいました。この南部の20何名かの先生方が歯の健康が一番大事だと、また原点は口腔だと、口から病気が入るのだというお話がありました。私も毎年このデンタルフェアに参加するなかにおいて、自ら歯に対し、口腔に対し反省しており、今の南風原町の子たちには、孫たちには私のような思いはさせたくない、そのために歯には十二分に気を付けていてもらいたいと町の幼稚園、特に保育園において子どもたちには自由に歯磨きをさせ、仕上げ磨きを保育士の先生方が90名定員のところであれば90人全員の仕上げをしてもらっています。これが原点だという思いで、保育園から小学校へ上がる過程において、歯を磨かず寝なさいと言われても子どもさんのほうからまだ歯を磨いていないよと親に言える、こういう積み重ねこそが大きな健康につながるのかという思いであります。フッ化物に関し高所大所、国からこうだと方針が出ればやっていますが、この方針が出るまでは各園に、各学校に任せながら、歯磨きは健康の源だと思っておりますので強力に進めていきたいと考えており、南部医師会の皆さん方からも南風原町と連携してやっていこうという思い、これに対して私たちも共にやっていこうという思いで町の保

健師の皆さんも一緒にやっております。そのように取り組んでいることをご理解お願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 私はまだまだ町長は健在だと思いました。その健在さを任期期間中全うして、ぜひその歯の健康について今お話しされたようなことを実行されてください。よろしくお願いします。これで歯の健康については終わります。

次に、質問の2番目、ちむぐる館の運動器具整備について、快適に使用できるよう対応してまいりますと答弁をいただきました。利用する回数が多い運動器具や健康器具は、それだけ人の体と接触する部分も多くなり、ビニール皮革部分の摩耗も激しいと思います。利用者が安心・安全に、そして健康増進室を快適に利用できるようにも、器具の整備に十分な対応をしていただきたいと思います。

次の(2)利用者が安全に運動器具の使用ができるよう整備が必要と思われる運動器具の点検はどのようになっているかということですが、先ほどの答弁では、業者が2、3カ月に1回、見回り点検をしているということでした。点検した内容は記録として保管されていますか。それから、器具の安全状況がいつでも管理者が確認できるような体制になっているのかどうかお答えください。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子君 それではお答えします。運動器具販売業者が2、3カ月に1回見回り点検をしておりますけれども、その記録については現在のところありません。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 安全に利用してもらうためには、運動器具の使用状況をチェックし消耗度合に目を配らないといけないわけですし、運動器具の消耗度合によっては事故にもつながり兼ねないことでもありますから早めの対応が必要であるということは言うまでもありません。消耗度合をチェックするチェックリストは作られているかをお伺いしたわけですが、できていないということですのでぜひ作っていただきたいと思います。どうですか。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子君 チェックリストの作成については、今後検討してまいり

たいと思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 よろしく申し上げます。安全管理の面でぜひ必要ですので作ってください。

それから、宮平交差点の信号機整備についてですが、さっそく与那原警察署へ右折信号設置の要請が行われたとのことご答弁でした。どうもありがとうございました。先ほど宮平交差点の交通状況の認識はどうかお伺いしたわけですが、私は先日、11月後半でしたけれども、当該交差点に出掛け交通状況を調査しました。宮平交差点の交通量の多さから見ても右折用の信号表示がなく、赤信号になっても右折してしまう状況であり、これは危険であると見受けられました。安心・安全な運転を目指す点からも、右折用信号機の早めの整備が必要であると考えた次第であります。ご答弁ありがとうございました。

次に、黄金ホールでの歌声コンサートの件についてです。黄金ホールの利用状況について質問します。ここ数年、黄金ホールで開催されたコンサートやイベント類は何件でしょうか。だいたいよろしいです。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 お答えします。平成28年度が全体で183件、平成29年度11月までで132件となっております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。183件に132件というのは、稼働日が200何日しかないなかで結構多いですね。どれぐらいの町民が黄金ホールに足を運んでいるかがそれから分かると思います。

それから、催し物の予約状況など開催情報はどのようなかたちで町民は知り得るかですが、横断幕やチラシなどがありますが、町の広報誌やホームページでも知ることができますか。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 現在の情報につきましては、公民館主催や町主催のものはホームページや広報誌に載せますけれども、外部の団体が借用する場合には主催者側がパンフレットを持ってくるか、ポスターを掲示していただきと持ってくる状況になって

おりまして、今後はそういった月のイベント情報がホームページに掲載できるのかどうか関係課と調整しながらやっていきたいと思いをます。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ぜひそうしていただきたいと思いをます。町民は、いつ何があるかということは過去のこととして知るのではなくて、これからどんなことがあるかということに重要性がありますので、ぜひそうしていただきたいと思いをます。以上で、私の質問を終わります。